

「ちょっとした声かけ」②

年 組 番

氏名

1 こんな場面での声かけを考えてみよう。 【A：手助けする人 B：困っている人】

(1)〔場面1〕Bさんは白杖を持って、交差点できょろきょろしています。

Aさん：〔Bさんの様子を見て、ゆっくり近づいて声をかけた。〕「(①)」【い】

Bさん：「郵便局に行きたいのですが、迷ってしまって。」

Aさん：「私も同じ方向なので、よかったら郵便局まで(②)」【な】

Bさん：「ありがとうございます。助かります」

Aさん：「どうしたらいいですか？」

Bさん：「あなたのひじを持たせてもらっていいですか？」

Aさん：「(③)【り】。いいですよ。どうぞ」

①	②
③	

(2)〔場面2〕Bさんは6か月の子ども（ベビーカーに乗っている）と一緒に、祖母に合うために田舎の駅に着きました。どうやらこの駅は無人駅で、エレベーター也没有せん。

Bさん：〔階段の前で困っている様子〕

Aさん：「(①)」【い】

Bさん：「ありがとうございます。エレベーターがなくてどうしようかと思っていました。」

Aさん：「(②)」【な】

Bさん：「はい、お願いします」

Aさん：「分かりました。(③)」【り】〔ベビーカーを持って階段を下りる〕

Bさん：「助かりました。ありがとうございました」

①
②
③